

令和5年度 学校評価表（年度当初）

教育目標	学校教育目標	心豊かで、たくましく、主体的に学び、地域に貢献できる生徒の育成	【ミッション】 大崎上島の将来を担う、たくましく生きぬく生徒の育成 ～ふるさと大崎上島を愛する生徒を育てる～	【ビジョン】 《めざす学校像》 ○安心、安全な学校 ○教職員が協働し、主体性と創意工夫を大切にす学校 ○地域に開かれ、保護者、地域と相互に支え合い、誇れる学校	《めざす生徒像》 ○自らの夢や目標に向かって主体的に学び行動できる生徒 ○自分に自信と誇りを持ち、仲間への思いやりと優しさを持つことができる生徒 ○故郷に誇りを持ち、地域の文化と人を大切にす生徒
	研究テーマ	生徒が主体的に学ぶ授業の創造 ～「逆向き設計論」を生かした単元設計・授業設計～			

領域	中長期目標 短期経営目標 (子供の姿)	担当	評価計画		自己評価			取組の成果と今後の改善方策	
			目標達成のための方策	評価項目	達成率	達成度	評価		
確かな学力	改善の視点を明確にした研究授業	研究	「主体的・対話的で深い学び」を焦点化した校内授業研究を実施する。(年5回以上)・課題に対して、自分の考えを持ち、学び合いながら、課題解決に取り組み、考えを深める授業改善を行う。	全国学力・学習状況調査では、全国、県平均3ポイント上回る。標準学力調査では、各学年、前年度と比較し、各教科平均5ポイント上回る。質問紙(3)の課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。肯定的評価の割合(80%)	80%				
			個人思考、グループ、全体交流について意図的に仕組み、自分の考えを相手に分かりやすく広めるように発表させる。	生徒アンケート「授業では自分の考えを持ち、相手に分かりやすく広めるように発表しています。」の肯定的評価の割合	80%				
	基礎・基本の定着	教務	・定期的な研修を実施する。(毎月1回) ・毎月1回以上ICTを活用した授業を行う。 ・学期に1回オンライン授業を行う。	・定期的な確認及び生徒・教職員・保護者アンケートの肯定的評価の割合	80%				
			・家庭学習の習慣化に向けて「学び方マニュアル」の周知徹底を図る。 ・個別学習の充実を図る。 ・授業規律の徹底を図る。	生徒、保護者アンケートによる家庭学習時間(1年:70分 2年:80分3年:90分)を上回るの割合	70%				
豊かな心と高い志を育む	豊かな心と高い志を育む	自己有用感の向上	学校生活、行事、体験活動、生徒会活動等を行う中で、肯定的評価を常に入れる。	生徒アンケートによる「私の良さは周りから認められている」の肯定的評価の割合	80%				
	豊かな心	社会で通用する生活態度の育成	生活4項目(大きな声で返事をする、場に応じた姿勢・挨拶をする、時刻を守る、相手に話を聴く、及び「ありがとう、乾杯しろえ」を徹底する。	生徒・教職員・保護者アンケートによる肯定的評価の割合	90%				
健やかな体	健やかな体	生徒指導	運動能力の向上	体力テストにおける学校全体の課題克服に向けて授業、部活動等で取組を徹底する。	新体力テスト、AB評価の割合	70%			
			食育の推進	健康安全	給食指導を通して、マナー及び完食をめざした食育の指導を徹底する。	週3日以上完食した生徒の割合	85%		
		信頼される学校	保護者・地域との連携	積極的な情報発信	・定期的な種々の配付物やHPの更新を図ること学校の様子を伝える。 ・家庭連絡、家庭訪問を積極的にに行い、信頼関係の構築をより図る。	保護者アンケートによる「学校の様子がよくわかる」の肯定評価の割合	90%		
地域等との協働	学年			地域との連携等を意図的、計画的に行い、総合的な学習の時間等の充実を図る。	生徒アンケートによる「大崎上島に関する知識が深まった」の肯定的評価の割合	90%			
業務改善	業務改善	総務	生徒と関係者との関係の削減	・学校行事、地域行事等の見直しを行い、生徒と向き合う時間を確保する。 ・分掌の組織化をさらに推進し、業務の分担を図る。一斉退校日を毎月4日設定する。	・学校行事、地域行事をそれぞれ1つ以上削減する。 ・時間外勤務時間毎月45時間以下の職員数の割合	60%			
			休業日の設定	・計画的な年休を5日以上取得する。 ・長期休業中は、連続3日以上の日を確保する。 ・部活動については、週2日の休業日の設定と練習試合等の時間短縮に向け改善を図る。	週当たりの休業日、計画的な年休、週休日の部活動、長期休業中休業日の取得の割合	80%			

【評価指数】 A:達成 100≧(A) B:ほぼ達成 80≧(B)<100 C:もう少し 60≧(C)<80 D:できていない (D)<60